

## OKETSU Improving Drug の皮膚科臨床検体由来 Nonsporing gram-positive rod や gram-positive cocci に対する抑制効果

○檜垣 修一、諸橋 正昭

富山医科薬科大学・医学部・皮膚科学教室

### 【目的】

皮膚科領域各種細菌に対する抑制効果での被験剤は主にペニシリン系やセフェム系抗菌剤であり、伝統医薬である OKETSU Improving Drug と各種細菌に関連した報告は皆無に近い。昨年 の第 19 回の本学会では *Propionibacterium avidum* に関する種々の報告を行った。今回、各種皮膚疾患に使用されている OKETSU Improving Drug の Nonsporing gram-positive rod や gram-positive cocci に対する抑制効果を検討したので報告する。

### 【方法】

皮膚科臨床検体由来 Nonsporing gram-positive rod や gram-positive cocci を材料とした。被験菌の同定手技として Rapid ANA II System 等を用い、被験剤には代表的な OKETSU Improving Drug 等を使用した。被験菌に対する MIC は日本化学療法学会測定法に準拠し、抗酵素活性測定にガス噴射法を用いた。

### 【結果と考察】

OKETSU Improving Drug の被験菌に対する MIC は概して高値であり、抗化膿作用を有する他の漢方薬と大差はなかった。被験菌の酵素作用は活発であったが、OKETSU Improving Drug 添加培地でその作用に対する抑制がみられた。OKETSU Improving Drug は尋常性乾癬等に対しても本来臨床的に有効で、今回、更に種々の構成生薬の働きにより被験菌への抑制効果が得られたと推察される。今後、被験菌株や被験剤を追加し、より詳細に検討する予定である。